

## 図書館総合展2021

### 「学校図書館が主導するジャパンナレッジSchoolの導入から活用まで」 質問集

#### Q01. ネットでの語句検索とジャパンナレッジSchoolとの違いはありますか？

国語科教員：インターネット検索の場合、自分からキーワードを入力しないと、ことばに出会ったり意味を知ることができないが、類語辞典では関連する語彙が難しいものから簡単なものまでずらっと出てくるので、自分からことばを入れて検索するステップがなくなる。気になったことばは生徒によってバラバラだが、個人ですぐアクセスできる点はJKS類語辞典の強みと考えている。

英語科教員：ネット検索は生徒にとって非常に身近であり、答えもすぐわかってしまう。ただ言語学習の観点からみると、自律的な学習のためには複数の意味から文脈に適した意味を選ぶ作業が必要になる。その作業のために辞書にあたるべきだと思し、ネット検索に近い形状で辞書を調べられるJKSの存在は大きいと思っており、中1の英語の授業でも生徒がJKSを気軽に活用している。

#### Q02. 場所が限定されなくなったことにより、逆にラーニングセンター（図書館）ではどのような利用がされていますか？

学校司書：各学年で総合的な探究の時間が週2~3時間あり、ラーニングセンター、及び地続きのプレゼンテーションルームで行われている。各教科でも探究的なスキルを養う授業を実践しており、その際教室だけでなくラーニングセンターを予約し、使うこともある。

最近では中1英語で各国を調べ、インスタグラム風の資料を作成するという活動をしていた。逆にラーニングセンターの資料をブックトラックで運び、各教室で使うこともあるため、流動的に場所を限定せず図書館の資源が利用されている。

#### Q03. 学年ごとの利用にばらつきが見られますが、その一番の原因は何だと考えられますか？

学校司書：中1は初動でしっかりガイダンスができた点や、英語科目で辞書の読み比べ授業が5月にあったため、各ツールの特徴を知り、JKSの有用性が伝わっているのではと思う。一方他学年は初動でガイダンスの時間が取れず、授業内で使われれば利用があり、ないと利用されない、という現状です。

**Q04. ICT活用を推進したいが、中1等はタブレットの使い方等ICTに不慣れな部分もあるかと思う。情報リテラシー教育はどのように行っているか？**

学校司書：一言では難しいが、たとえば情報収集の際に出典の記録方法をレクチャーし実践する、ということ国語科だけでなく様々な教科で繰り返し行っている。情報収集の仕方、手法についても、1度教えて終わりではなく教科・学年をまたいで実施している。

また、探究スキルラーニングという時間の中にロジカルシンキング、クリティカルシンキング、情報リテラシーを盛り込んでいる。※青翔開智様HPで事例も紹介しています。

**Q05. 生徒の成果物は紙ベースでしたが、その内容はどのような手段で共有されていますか？生徒が調べ物をパワポ等にコピペ・編集して発表するケースはどれ位ありますか？**

理科教員：事例紹介した授業は情報カードを活用するために紙で行った。多くの場合はgoogleクラスルームやスプレッドシートを活用しweb上で共有することが多い印象。

国語科教員：事例紹介した授業は直接的な資料の引用を含まなかったが、国語科ではレポートを書く授業が多くあるため、その際、直接引用し脚注をつける作業についてgoogleドキュメントやwordで作成する場合は逐一指導している。

**Q06. 探究学習では、ジャパンナレッジや図書などの資料として信用のおけるツールと、Googleやsafariなどのインターネット検索（サイトにより情報の信頼性が低いものも含む）、生徒はどちらを多く使用している印象ですか？**

学校司書：圧倒的にGoogle検索が多い。教員や司書から働きかけてweb情報・図書・JKSのそれぞれの特徴や利点を説明しないとGoogle検索になってしまう。また、Google検索といっても文章で入力したり、オプション機能を知らない状態で検索している。機会をとらえ検索のコツを教えたり、ドメインの読み方を伝えるようにしているが、何も言わなければGoogleやYahoo!検索になりがち。

情報源としても信頼できるサイト・注意が必要なサイト等教えているが、Wikipediaやまとめサイトだけを見ることは多発する。ただし、そこはチャンスと思っており、生徒に情報の信ぴょう性等問いかけるきっかけとすることも必要と思う。

**Q07. 調査や探究の授業には、必ず司書が関わっているのでしょうか？**

学校司書：必ず関わっているわけではないが、ほとんどは教員から相談がある。探究スキルラーニングについては年間計画段階から共に準備している。ラーニングセンターで生徒が調べている時は声かけし、次の授業でサポートできないか考えることもある。

**Q08. 電子サービスを検討しているが、学内でまだまだ紙信仰が強く、理解が得られていないという悩みを聞く。紙と電子の扱いについてどのように考えているでしょうか？**

英語科教員：両方とも長短ある。子どもの年代はネットにアクセスできることが当たり前なので、紙と電子両方ともアクセスできる環境があるといいのではと思う。

学年が上がるにつれて、未知語が増えたり、語法も深まるため、膨大な数を調べる必要が出てくる。その場合、紙辞書だと時間がかかるため、電子で調べることが多くなる。だからこそ紙辞書の利点も知っておくべきとは思う。

紙の辞書は発音してくれないが、電子は音声データが入っているため、活用しやすい。

※こちらの先生は紙辞書の編纂にも関わっていたご経験有

**Q09. 司書発信のジャパンレッジ活用は教員のサポート以外で何かされていますか？**

学校司書：司書が一人で授業を行うことはないので、授業担当教員のサポートがメインになる。探究授業の中で、JKSの基本操作や活用ガイダンスは各学年で行ったが、以降は随時各授業のサポートに入ることが主です。

**+ 学校司書から利用促進等職員に発信したことはありますか？**

職員会議でトライアル結果の共有の他、利用開始以後はアップデート情報を教員に伝えてアピールしている。（googleSSO搭載(2021/10)、類語辞典搭載(2021/6)、目次検索、コンテンツ指定→検索機能）

搭載希望や改善希望を伝え、教員とネットアドバンスの間に入って繋ぐ役目として動いている。

**Q10. 授業に関する事前相談の時に、ジャパンレッジをこんな風に使いませんかというような提案を司書が教員になさることもありますか。**

学校司書：ある。本日登壇した先生はご自分で模索されていることが多いが、JKS国語辞典や百科事典を他の教員に提案することがある。

**Q11. 授業外の教材研究としての先生方はどのように利用しているのかも知りたいです。**

国語科教員：最も使うのは語句検索。JKSは複数辞典が搭載されている点が良く、同じ単語でも辞書により記述が異なる。複数辞書見ることで、どの言葉の意味が適しているか、が自身の中で固まるため、教材研究が深くなっており、授業にも反映されていると思う。

辞書により記述のされ方が異なることは高学年の生徒には伝え、複数辞書に当たることを勧めている。

理科教員：生物名が細かくなったり、生徒に馴染みのない生物の場合、イメージが湧きづらいため、授業内で生徒に紹介する為に、インターネット検索の他にJKSのメディアの絞り込み機能を使い、まず自身で調べている。

#### **Q12. 各家庭負担はジャパンレッジ以外に何を採用しているのかも可能な範囲で良いので教えてほしいです。**

学校司書：教科書・副教材・デジタル教材費と分かれている。副教材（紙）は各学年により異なる。

JKSはデジタル教材費に割り振られている。他に数学科のAI教材、オンライン英会話をデジタル教材として採用。毎年2月頃に次年度採用する教材を決めているため、変更することもある。

#### **Q13. 差し支えなければ、図書予算を知りたいです。おおよそで大丈夫です。**

学校司書：昨年度は図書・電子書籍計で200万だが、比較的少な目の年度。図書については本棚に余裕があり、毎年2000冊ずつ増やす目標だが、選書や受入れが追いついていない状況。

JKlib時代（館内端末50台使用）は図書館予算だったが、JKSになり各家庭負担へ移行した。図書・電子書籍の他に、雑誌・新聞・DB費用（新聞記事検索、JKlib等30万）

#### **Q14. 新書を生徒に読ませたいが、工夫している点はあるか？**

国語科教員：事例紹介した授業では、古文の難しい本文の補助的にジュニア新書を読ませたが、単元と関連した書籍は授業の冒頭等で紹介するようにしている。本棚を見ながら選ぶブラウジングの様な感覚で、JKSの新書トップページを見つつ、繋げられそうな単元・書籍を考えたりしている。

#### **Q15. 長期休暇中の生徒利用が少ないとのことでしたが、自由研究などの各種課題でもあまり使われないのでしょうか？家庭学習や休み中の利用促進は何か考えられていますか？**

学校司書：今後の課題とと思っている点。学校が鳥取県にあり、コロナ休校が他地域よりも少なく、今年度は殆ど無かったため、家庭での利用促進が出来ていない現状。また、学校方針として自律的学習を目指しているため、課題をあまり課していない。その自律学習の中では、まだ生徒には使われていないため、冬休み・春休みに向け利用促進を検討しなければと思っている。

以上